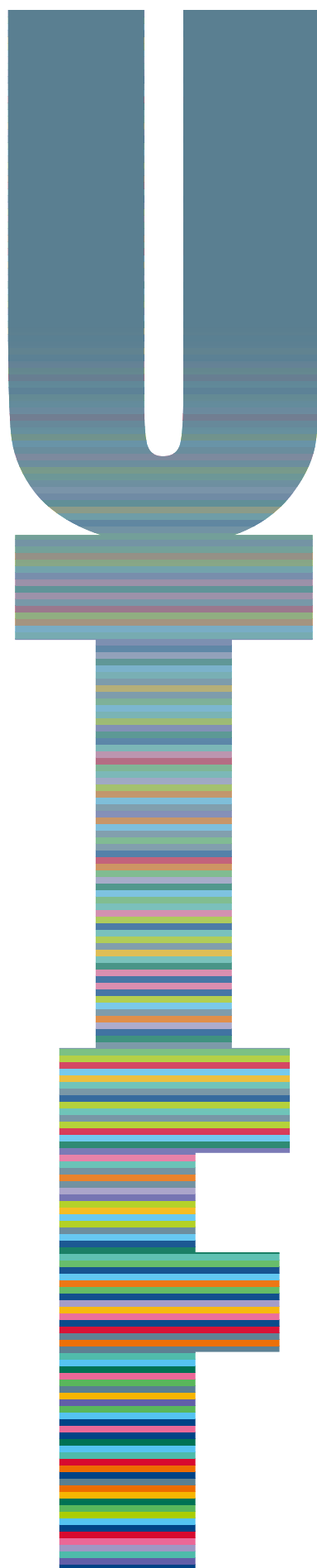




富山大学 基金

University of Toyama
Foundation

富山大学へのご寄附のお願い

日頃より富山大学の教育・研究・社会貢献にご理解をいただき、また、格別のご支援賜りまして深く感謝申し上げます。

本学は、平成17年(2005年)に旧富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学が再編・統合し、2025年には統合20周年を迎えました。現在9学部(人文・教育(旧人間発達科学)・経済・理・工・医・薬・芸術文化・都市デザイン)及び附属病院や和漢医薬学総合研究所など複数の教育・研究組織に約9,300名の学生と約2,400名の教職員が在籍し、多様な分野での教育・研究・社会貢献活動に活躍しています。

現代は、少子高齢化、グローバル化、気候変動など激しい変化に直面しています。このような状況下で、課題を解決し新たな価値を創造するためには、異なる分野の知識や知見を統合する「総合知」が求められます。なお「総合知」を活用する土台となる「データサイエンス」「アクティブラーニング」「英語教育」の3つが重要で、本学の教育で特に力を入れています。また、研究においては本学が強み・特色とし、地域産業に貢献する5つの分野(「カーボンニュートラル」「ヘルスケア・創薬」「軽金属」「データサイエンス」「文化財保存」)を重点的に育成しています。

一方、国立大学をめぐる経営環境は、運営費交付金の削減、光熱費の急騰、施設整備費の値上がり、IT整備の充実、雇用賃金引上げ等の要因で大変厳しい状況にあります。これまで、皆様方のご寄附により、学生の海外研修補助、新型コロナウイルス感染時の経済的支援、能登半島地震時の災害支援等、本学での修学支援のため富山大学基金をありがたく活用させていただきました。富山大学のさらなる飛躍のために、今後とも「富山大学基金」を初め、特定基金(修学支援、研究等支援、課外活動支援、経済学部、工学部、医学部、芸術文化学部基金及び和漢医薬学総合研究所基金)や附属病院等への募金へのご支援、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



富山大学長

齋藤 滋

寄附先の種別

詳細は右記QRコードよりご確認ください。



大学全体を支援したい

一般寄附



用途を限定せず、大学の活動を広く支援する基金です。
継続事業として、在学生の留学支援事業や、成績優秀者への表彰を行っております。

特定の部局を支援したい

医学部基金



教育施設の整備等、医学部の教育・研究に支援を行います

工学部基金



創造工学センターをはじめとした、工学部の教育・研究に支援を行います

経済学部基金



経済学部の教育・研究に支援を行います

附属病院支援基金



高度な医療を提供するための教育・研究・施設整備等を行う基金です

芸術文化学部基金



芸術文化学部の教育・研究に支援を行います

和漢医薬学総合研究所基金



和漢医薬学総合研究所の教育・研究に支援を行います

学生を支援したい

修学支援基金



被災した学生等、経済的理由により修学が困難な学生に支援を行います

課外活動支援基金



学生の人間形成の場の一つである課外活動の支援を行います

研究を支援したい

研究等支援基金



学生又は不安定な雇用状態にある研究者の研究活動等に対し、支援を行います

特定の教員や学部・学科・講座等を支援したい

寄附金制度(学術研究・産学連携本部)

教育研究の奨励を目的とする寄附金を受け入れる制度です

その他

リサイクル募金(きしゃぽん)

期間限定企画

(クラウドファンディング、Giving Campaign等)

附属病院支援基金や寄附金制度(学術研究・産学連携本部)についての詳細は、裏表紙のQRコードよりご確認ください。



一般寄附は、用途を限定しない寄附であり、本学が行う学生修学・教育研究等に係る各種事業の一層の充実を図ります。

継続されている事業内容として、国際交流事業の推進や、成績優秀者への表彰を行っております。

国際交流事業

国際交流事業として、毎年様々なプログラムで学生の留学支援を行ったり、職員の海外派遣を支援したりしております。

●支援事業に参加した学生の声

留学体験記：学生海外留学支援事業 留学先：UTAR トUNKアブドゥルラーマン大学（マレーシア）

この度は、富山大学基金による海外研修支援をいただき、ありがとうございました。私たちは、理学部国際コースとして、5週間の海外研修に参加し、主にトUNK・アブドゥル・ラーマン大学で授業を受講しました。

研修前半は、発音や語彙など英語の基礎学習に加え、短編映画の要約やVlog制作などに取り組み、英語で考え、伝える力を養いました。また、宗教や地域ごとに異なる文化についてプレゼンテーションを行い、多文化社会への理解を深めることができました。

研修後半では、生物多様性や環境問題などを英語で学びました。マングローブ林での野外研修やテラピンの保護施設訪問を通して、熱帯地域特有の生態系や環境保全の重要性について理解を深めました。

授業外では孤児院訪問や民族文化体験、さらにサンウェイ大学やモナッシュ大学を見学し、現地の価値観に触れるとともに、今後の留学への意欲も高まりました。

今回の海外研修は、多様な価値観に触れることができる貴重な経験となりました。今後もこの経験を活かし、積極的に英語学習に取り組んでいきたいと思ひます。



マングローブ林での
野外研修の様子



民族文化体験の様子

留学体験記：夏季オンライン英語研修プログラム支援事業

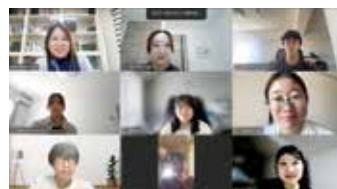
留学先：アテネオ マニラ大学（フィリピン）

この度は、富山大学基金の夏季オンライン英語研修プログラムに参加する機会をいただき、ありがとうございました。

私はオンライン形式で、現地の先生と富山大学の学生の皆さんと一緒に、10日間の授業に参加しました。授業では、ライティング・リーディング・スピーキング・リスニングの4技能を使った演習に加え、ロールプレイやディスカッションが中心で、毎回楽しく学ぶことができました。

もともと人と話すことが好きで、自分の英語コミュニケーション能力を高めたいと思ひ参加しましたが、本当に参加してよかったと感じています。学年や学部の違い仲間と英語で意見を交わす経験は新鮮で、英語で伝えることの面白さと難しさの両方を実感しました。

この研修を通して、より海外に興味を持ち、もっと世界を見てみたいと感じたため今年の3月にはフランス研修に参加することを決めました。今後も、さまざまな人と交流し、より自分の視野を広げていきたいです。貴重な機会を本当にありがとうございました。



オンライン授業の様子



学生表彰事業

各学部・大学院生の成績優秀者を表彰する事業です。優秀な学生に表彰楯と記念品を授与しています。



課外活動支援事業

本学の課外活動施設は老朽化が進んでおり、施設によっては激しい老朽化が原因で学生たちが活動中に怪我をしてしまう恐れがありました。

令和7年10月に富山大学統合20周年記念事業で得た寄附金を活用して、学生の課外活動施設支援および節電事業の促進を目的に、五福キャンパス テニスコート投光器(LED)の一部改修を支援いたしました。





本学では、経済的理由により修学が困難な学生に対し、以下の6つの事業により必要な支援を行います。

- 授業料、入学料又は寄宿料の全部又は一部を免除する事業
- 学資金を貸与又は給付する事業
- 教育研究上の必要があると認めた学生の留学に係る費用を負担する事業
- 学生の資質向上を主たる目的として、学生を教育研究に係る業務に従事させ、手当を支給する事業
- 外国人留学生と日本人学生が共同生活を営む寄宿舎の寄宿料の減額を目的として、当該寄宿舎の整備を行う場合における施設整備費又は民間賃貸住宅等を借り上げて当該寄宿舎として運営を行う場合における賃料の一部を負担する事業
- 個々の学生等の障害の状態に応じた合理的な配慮を提供するために必要な事業であって、障害のある学生等に対する事業

活用事例

①新型コロナウイルスへの対応(令和2年度)

新型コロナウイルス感染症に係る影響を受けて、アルバイトの減少等、家計が急変した学生1,397名に対し、本学独自に奨学金(一時見舞金)を総額69,850,000円支給しました。

②能登半島地震の被害を受けた学生への対応(令和6年度)

令和6年に発生した能登半島地震や豪雨災害に被災した学生123名に総額7,560,000円支給しました。

●支援を受けた被災学生からの声

- ・この支援事業にご寄附頂き、ありがとうございました。震災で自宅の修復もあった中、このように支援してくださったことで、家族も私も安心して暮らすことができました。
- ・事業へのご寄附ありがとうございました。頂いた寄附金は家の修理費や私個人の生活費等に充てさせていただきました。頂いた寄附金は大切に使用し、今後とも勉学に励んでまいります。
- ・今回の大きな災害を初めて経験し、今後のことを考えるうえで多くの不安を抱えていました。しかし、災害対応支援金給付事業の存在を知り、支援してくださる皆様がいることを実感することができました。おかげで、心が少し軽くなりました。本当にありがとうございました。



本学では、研究等支援基金を設置し、学生又は不安定な雇用状態にある研究者に対し、以下の3つの事業により必要な支援を行います。

- 学生又は不安定な雇用状態にある研究者が公募により選定されて参加する研究に関するプロジェクトにおいて、その学生又は不安定な雇用状態にある研究者が自立した研究者として行う研究活動に要する費用を負担する事業
- 論文の刊行に要する費用、学会等への参加に要する旅費その他の費用で研究活動の成果を発表するために必要なものを負担する事業
- 大学院に在学する学生又は不安定な雇用状態にある研究者のその専門とする分野に係る研究者としての能力及び資質の向上を主たる目的として、異分野の研究者との交流その他の他の研究者又は実務経験を有する者との交流を促進する事業

医学部基金

詳細はこちら



富山大学医学部では、「地域と世界で活躍できる医療人の養成」を使命に、近年の医療環境の変化を踏まえ、国際化や地域医療への対応など、より質の高い教育環境の整備が求められています。

こうした取組を支えるため、「医学部基金」を通じ、学生の成長と挑戦への支援を図ることを目的としています。

基金の目的

1. 学生の課外活動・学修環境の充実
2. 海外留学等による国際化支援
3. 地域医療・地域活動への学生支援



工学部基金

詳細はこちら



富山大学工学部の教育・研究における環境の整備や内容の充実による高度なものづくり人材育成を図ることを目的とします。

基金の目的

1. 工学部の教育・研究環境の整備
2. 工学部の教育・研究活動の支援
3. 工学部改修事業
4. その他工学部の教育研究に関する事業



学生プロジェクトについて

学生が自らデザイン、設計、製作したマシンで競う、毎年開催される全国競技会に挑戦する学生プロジェクト(学生フォーミュラーカー、学生ロボットコンテスト等)です。

若い世代が机上の知識だけでなく、実際のものづくりを通じて実践的な能力を身につけることを目的に設立されました。

工学部基金では、学生プロジェクトへのご寄附も受け付けております。

詳細は上部のQRコードより工学部基金ウェブサイトをご確認ください。

<http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/kikin/>

経済学部基金

詳細はこちら



富山大学経済学部の教育・研究における環境の整備や内容の充実による高度人材育成を図ることを目的とします。

基金の目的

1. 経済学部の教育・研究環境の整備
2. 経済学部の教育・研究活動の支援
3. 経済学部100周年記念事業
4. 経済学部改修事業
5. その他経済学部の教育研究に関する事業



芸術文化学部基金

詳細はこちら



富山大学芸術文化学部の教育・研究における環境の整備や内容の充実による高度人材育成を図ることを目的とします。

基金の目的

1. 芸術文化学部の教育・研究環境の整備
2. 芸術文化学部の教育・研究活動の支援
3. 学部学生、及び大学院学生への支援
4. 芸術文化学部改修事業
5. その他芸術文化学部の教育研究に関する事業



和漢医薬学総合研究所基金

詳細はこちら



富山大学和漢医薬学総合研究所の教育・研究における環境の整備や、内容の充実による高度人材育成を図ることを目的とします。

基金の目的

1. 和漢医薬学総合研究所の教育・研究環境の整備
 2. 和漢医薬学総合研究所の教育・研究活動の支援
 3. その他和漢医薬学総合研究所の教育研究に関する事業
- ※なお、各研究プロジェクトの詳細については、ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.inm.u-toyama.ac.jp/kikin/>



課外活動支援基金

詳細はこちら



課外活動支援基金へのご寄附は、課外活動全般への使途の他、公認の課外活動団体が使用する物品購入や大会旅費の補助、課外活動施設の修繕等に活用いたします。

※なお、特定の団体や目的の寄附については、ウェブサイトをご確認ください。

また、特定の団体を指定せず、課外活動全般の使途でご寄附をお受けすることも可能です。



寄附者特典

詳細はこちら



ご寄附いただいた金額により、様々な形での謝意をご用意しています。

みなさまには、今後とも富山大学基金の趣旨にご賛同いただき、引き続き温かいご支援のほどお願いいたします。

一般寄附、修学支援基金、研究等支援基金の寄附者特典

富山大学基金ウェブサイトや銘板に、寄附者様のご芳名を掲載します。

富山大学基金への寄附額が一定金額以上となった場合には、感謝の意を表して寄附額に応じて下記グッズを贈呈いたします。

●富山大学オリジナル扇子

富山大学の教員が原画・デザイン制作を行い、伝統的な京扇子の技を受け継ぐ職人が1本1本丁寧に作ったオリジナルの扇子です。共にアクリル・スライド蓋付桐箱に入れてお届けします。



『連峰の輝き』（寄附の合計額が10万元以上）
原画制作
元富山大学芸術文化学部教授 高島圭史（日本画家）



『百花繚乱』（寄附の合計額が5万元以上）
デザイン制作
富山大学名誉教授 武山良三（デザイナー）

謝意品は寄附額に応じて選べます。詳細は富山大学基金ウェブサイトをご確認ください。

その他特定基金の寄附特典

特定基金でも、独自の返礼品をご用意しております。詳細については、各特定基金のWEBページにてご確認ください。

医学部基金

返礼品 ●ご寄附いただいた皆様に、医学部設置50周年記念クリアファイル
芳名掲載 ●WEBにご芳名を掲載させていただきます。
一定金額以上の方には、銘板に刻印して永く顕彰させていただきます。
感謝状 ●高額寄附者（個人で50万元以上、団体で100万元以上）には、富山大学
医学部長名での感謝状を贈呈いたします。
シミュレーションセンター利用券 ●10万円毎に進呈いたします。



クリアファイル



感謝状（盾）



経済学部基金

芳名掲載 ●WEBにご芳名を掲載させていただきます。
一定金額以上の方には、銘板に刻印して永く顕彰させていただきます。
感謝状 ●高額寄附者（個人で50万元以上、団体で100万元以上）には、富山大学経済学部長名での感謝状（盾）を贈呈いたします。



感謝状（盾）

芸術文化学部基金

芳名掲載 ●WEBにご芳名を掲載させていただきます。
感謝状 ●高額寄附者（個人で50万元以上、団体で100万元以上）には、富山大学
芸術文化学部長名での感謝状を贈呈いたします。

工学部基金

芳名掲載 ●WEBにご芳名を掲載させていただきます。
一定金額以上の方には、銘板に刻印して永く顕彰させていただきます。
感謝状 ●高額寄附者（個人で50万元以上、団体で100万元以上）には、富山大学
工学部長名での感謝状と返礼品（水時計）を贈呈いたします。



水時計「夢時計」



和漢医薬学総合研究所基金

返礼品 ●ご寄附いただいた皆様に、和漢医薬学総合研究所オリジナルグッズ
芳名掲載 ●WEBにご芳名を掲載させていただきます。
感謝状 ●高額寄附者（個人で50万元以上、団体で100万元以上）には、富山大学和漢
医薬学総合研究所長名での感謝状を贈呈いたします。
※研究プロジェクトに対してご寄附いただいた皆様には、各研究プロジェクトの進捗
状況をまとめたリーフレットを送らせていただきます（年1回程度）。

課外活動支援基金

感謝状 ●高額寄附者（個人で50万元以上、団体で100万元以上）には、感謝状を贈呈
いたします。

高額寄附者様への謝意（一般・修学支援・研究等支援基金共通）

累計額500万元以上（個人は100万元以上）の高額なご寄附をいただいた方

学長から感謝状を贈呈し、富山大学基金ウェブサイトに掲載します。（掲載しないことも選択できます。）

●紺綬褒章

紺綬褒章は、公益のために公的機関や公益法人に私財（個人は、500万元以上、団体は、1,000万元以上）を寄附した方に授与されます。

富山大学では、寄附者の意向を確認のうえ、文部科学省に申請することとしています。

富山大学基金振込用紙「銀行・郵便局（ゆうちょ銀行）用」

富山大学基金への寄附についてご案内

ご記入に際して

- 申込書を兼ねておりますので、必ずこの用紙をご使用になり、郵便局（ゆうちょ銀行）・銀行等金融機関の窓口にお出しください。銀行ATMはご利用できません。
- 北陸銀行及び富山第一銀行の各本店間は振込手数料は無料です。
また、郵便局（ゆうちょ銀行）の払込料金は富山大学が負担いたします。
その他の金融機関からお振込みいただく場合は、振込手数料が発生しますので、振込金額欄には、寄附金額から振込手数料を差し引いた金額を記入いただき、振込手数料と合わせてお振込みの手続きをお願いします。この場合、振込手数料を含めた金額を寄附金としてお取扱いいたします。
- お振込みの際、郵便局（ゆうちょ銀行）の場合は、左側の2つ（郵便局用）、銀行の場合は3つすべてにご記入ください。
- 振替払込請求書兼受領証は、払込みの証拠となりますので大切に保管してください。富山大学発行の寄附金受領証明書（所得税等の寄附金控除証明用）は後日お送りいたします。
- 払込取扱票は、「国立大学法人富山大学個人情報保護基本方針および同規則」に則り適正に管理・保管を行います。
- 特定の研究プロジェクトに寄附される場合は、「寄附の種類」欄にプロジェクト名をご記入ください。

通信欄並びに振込先の該当事項 にチェック（☑）及びご記入をお願いします。

ゆうちょ銀行・郵便局用

02 金 沢		払 込 取 扱 票（振 込 通 知 書）										通常払込料金 加 入 者 負 担	
007302		口座記号番号		金 額		千 百 十 万 千 百 十 円							
国立大学法人富山大学 富山大学基金				料 金		備 考							
※ 北陸銀行 五福支店 □富山第一銀行 五福支店		フリガナ		〒		都・道・府・県		【至急】 依頼人→仕向銀行 →被仕向銀行 →受取人		【電信扱】			
寄附者名 (おなまえ) ※		〒		TEL () -		E-mail:		ご芳名等の富山大学 ホームページ等への 掲載について □承諾する □承諾しない		様			
ご住所		〒		TEL () -		E-mail:		□一般寄附 □修学支援基金 □研究等支援基金 □課外活動支援基金 (団体名:) □学部基金 (学部名:)		日 附 印			
ご依頼人・通信欄		〒		TEL () -		E-mail:		□法人・団体 □元教職員 □役員・教職員 □一般 □在学生・卒業生・修了生 (学部等名:) □在学生・卒業生・修了生の家族 (学部等名:)		日 附 印			
ご依頼人欄におことろ、おなまえをご記入ください。(承認番号第 号)		〒		TEL () -		E-mail:		□課外活動支援基金 (団体名:) □学部基金 (学部名:)		日 附 印			

各票の※印刷欄は、ご依頼人において記載してください。

これより下部には何も記入しないでください。

銀行用

振替払込請求書兼受領証
(振込金(兼手数料)受取書)

□座記号番号	007302	通称払込 料金加入 者負担	2
加入者名	国立大学法人富山大学 富山大学基金	金額	40432
金額	千 百 十 万 千 百 十 円	※	
振込先	北陸銀行 五福支店 富山第一銀行 五福支店	※	
ご依頼人	おなまえ	※	
料 金		日 附 印	
備 考			

記載事項を訂正した場合は、その箇所には訂正印を押してください。
切り取らなくてお出しください。

ゆうちょ銀行または郵便局でお支払いの場合は左の2枚のみをお出しください。

《お問い合わせ先》

- ◇一般寄附・修学支援基金・研究等支援基金に関して
富山大学総務部総務課広報・基金室
電話 076-445-6178 FAX 076-445-6063
- ◇課外活動支援基金に関して
富山大学学務部学生支援課 課外活動支援基金担当
電話 076-445-6088 FAX 076-445-6092
- ◇医学部基金に関して
富山大学杉谷地区事務部総務課 医学部基金担当
電話 076-434-7007 FAX 076-434-1463
- ◇工学部基金に関して
富山大学五福高岡地区事務部 理工系総務課 工学部基金担当
電話 076-445-6691 FAX 076-445-6697
- ◇経済学部基金に関して
富山大学五福高岡地区事務部 人社系総務課 経済学部基金担当
電話 076-445-6402 FAX 076-445-6413
- ◇芸術文化学部基金に関して
富山大学五福高岡地区事務部 芸術系総務・学務課 芸術文化学部基金担当
電話 0766-25-9106 FAX 0766-25-9126
- ◇和漢医学総合研究所基金に関して
富山大学研究推進部研究振興課（杉谷） 和漢医学総合研究所基金担当
電話 076-434-7684 FAX 076-434-4656

電信扱 振込依頼書 (銀行保存用)

※依頼日	年 月 日	国立大学法人富山大学 富山大学基金									
受取人	千 百 十 万 千 百 十 円										
金額	※										
振込先	北陸銀行 五福支店 (普) 6008935 富山第一銀行 五福支店 (普) 237082										
※フリガナ											
※氏 名											
※住 所	都・道 府・県 市・区 町・村										
※電話番号	— —										
■ 払込取扱票は、至急、各行取りまとめ 支店に直送してください。 依頼人→仕向銀行											

この部分は、郵便局では使用しません。

(ご注意)

- ・この用紙は、ゆうちょ通帳アプリおよびゆうちょ銀行・郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この用紙は、機械で読み取りますので、口座記号番号および金額を記入する際は、枠内にはっきりとご記入ください。また、用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・払込みの際、法令等に基づき、依頼人様（および代理人様）の運転免許証等、顔写真付きの公的証明書類のご提示をお願いする場合があります。
- ・この用紙の通信欄・ご依頼人に記載されたおところ・おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものです。大切に保管してください。
- なお、備考欄に「口座私」の印字をしたものは、通常貯金口座から指定口座への払込みが行われたものです。
- ・この用紙をゆうちょ銀行または郵便局にお預けになるときは、引き換えに「預り証」を、必ずお受け取りください。

収入印紙

課税相当額以上

貼 付

印

税制上の優遇措置

富山大学基金への寄附金については、税制上の優遇措置が受けられます。

●個人からのご寄附に対する措置

寄附金額が2千円を超える場合、その超えた金額が当該年の所得から控除されます(所得控除)。ただし、寄附金の額が総所得額の40%を上回る場合は、40%が限度となります。

なお、修学支援基金または研究等支援基金へご寄附いただいた方には、所得控除に加え、**税額控除**の適用対象となります。所得控除または税額控除のどちらか有利な方式を確定申告時に選択することができます。詳しくは、QRコードを読み込んでご確認ください。



$$\text{所得控除} \quad \text{所得税の軽減額} = \left(\boxed{\text{寄附金額}} - 2,000 \text{ 円} \right) \times \text{所得税の税率}$$

$$\text{税額控除} \quad \text{控 除 対 象 額} = \left(\boxed{\text{寄附金額}} - 2,000 \text{ 円} \right) \times 40\%$$

参考：寄附控除額の目安

課税所得金額 (税率)	控除方式	寄附金額		
		1万円	5万円	10万円
300万円 (10%)	所得控除額	800	4,800	9,800
	税額控除額	3,200	19,200	39,200
500万円 (20%)	所得控除額	1,600	9,600	19,600
	税額控除額	3,200	19,200	39,200
700万円 (23%)	所得控除額	1,840	11,040	22,540
	税額控除額	3,200	19,200	39,200
1000万円 (33%)	所得控除額	2,640	15,840	32,340
	税額控除額	3,200	19,200	39,200

注) 上記金額は目安です。

寄附された翌年の1月1日に富山県内にお住まいの方は、県民税及び市町村民税の寄附金税額控除を受けることができます。2千円を超え総所得額の30%までの寄附金額に対し、県民税は4%、市町村民税6%を乗じた額が控除されます。

富山県以外にお住まいの方は、それぞれお住まいの都道府県及び市町村により取扱いが異なりますので、お住まいの自治体までお問い合わせ願います。

$$\text{県 民 税} = \left(\boxed{\text{寄附金額}} - 2,000 \text{ 円} \right) \times 4\%$$

$$\text{市 民 村 民 税} = \left(\boxed{\text{寄附金額}} - 2,000 \text{ 円} \right) \times 6\%$$

●法人等からのご寄附に対する措置

寄附金の全額を損金算入することができます。詳しくはQRコードを読み込んでください。



富山大学へのご寄附の方法

①富山大学基金

本冊子付属の振込用紙またはインターネットよりお申込み頂けます。
詳細は、以下に記載のページよりご確認ください。

●一般寄附、修学支援基金、研究等支援基金

<https://tomidaikikin.adm.u-toyama.ac.jp/howto/index.html>

●課外活動支援基金

https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/extra-activities/extra-activities_kikin/method/

●医学部基金

<http://www.med.u-toyama.ac.jp/kikin/method.html>

●工学部基金

<http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/kikin/#method>
※学生プロジェクトへ寄附される際は、振込時にその旨記載ください。

●経済学部基金

<https://www.eco.u-toyama.ac.jp/kikin/index.html>

●芸術文化学部基金

<https://www.tad.u-toyama.ac.jp/fund>

●和漢医薬学総合研究所基金

<https://www.inm.u-toyama.ac.jp/kikin/>



※QR読み取り後に希望する基金のURLを選択してください(一般、修学、研究等、課外活動)。



※QR読み取り後に希望する基金のURLを選択してください(医学部、工学部、経済学部、芸術文化学部、和漢医薬学総合研究所)。

②学術研究・産学連携本部の寄附金制度について

教育研究の奨励を目的とする寄附金を受入れ、学術研究や教育の充実・発展に活用する制度です。詳細は以下URLまたは右記QRよりご確認ください。
<https://sanren.ctg.u-toyama.ac.jp/donation/>



③富山大学附属病院支援基金について

感染症対策や安全性の高い医療を行うための教育と施設整備をはじめ、新しい先進的な医療機器の整備、医療従事者の教育や研究に役立てられます。
詳細は以下URLまたは右記QRよりご確認ください。
<https://www.hosp.u-toyama.ac.jp/special/kikin/>



本パンフレットに関するご感想等ございましたら、
以下URLや右記のQRよりアンケートにご協力頂けますと幸いです。
<https://forms.office.com/r/BDtQ3BGEd2>



【お問い合わせ】

富山大学広報・基金室

〒930-8555 富山県富山市五福3190
Tel : 076-445-6178 E-mail : kikin@adm.u-toyama.ac.jp
URL : <https://tomidaikikin.adm.u-toyama.ac.jp>

